



Newspaper in Education

静岡新聞で学ぼう



解答例

2022年6月12日朝刊西部版

記事を読んで、問いに答えましょう。

虎を表現した田んぼアート＝菊川市下内田



菊川市下内田で11日、水田をキャンパスに見立てた田んぼアートの公開が始まった。高さ約6メートルのやぐらから、干支（えと）にちなんだ迫力のある虎の姿を鑑賞することができる。

迫力のトラコロナ退治

菊川 田んぼアート公開

2008年から続き、15回目。1600平方メートルの水田に7種類の古代米を植えて、左側にはホワイトタイガーがウイルスを退治する様子を、右側に寅（とら）の字を題材にしたキャラクターを描いた。今年も田んぼアートの写真と絵画のコンクールも開催している。画用紙は会場に配布する。作品は秋に中央公民館で展示する。やぐらから鑑賞できるのは8月15日までの土日祝日。鑑賞料は大人200円、小学生100円。7月10日は鑑賞会のイベントを、同23日夜は水田のライトアップを行う。（掛川支局・伊藤さくら）

- ①見出しの「退治」は何と読みますか。ひらがなで書きましょう。（ **たいじ** ）
- ②記事の田んぼアートには何が描かれていますか。
（ **（左側に）ホワイトタイガーがウイルスを退治する様子、（右側に）寅の字を題材にしたキャラクター** ）
- ③この田んぼアートの絵や文字は何を植えて描きましたか。（ **7種類の古代米** ）
- ④この田んぼアートはどのようにして鑑賞しますか。
（ **高さ約6メートルのやぐらから（鑑賞する）。** ）
- ⑤どんな願いでこの田んぼアートが長く続けられていると思いますか。記事から想像して、30字以内で書きましょう（句読点を含みます）。

（例）鑑賞した人が少しでも元気になってくれるとうれしい。（25字）
 田んぼアートは地域の人々が楽しく協力できる場になる。（25字）
 毎年知恵を出し合って図柄を決めたり植え付けたりできる。（27字） など

年 組 名前